



日本で女性経営者はどれくらいいると思いますか？全国の女性社長は約六万六千人で、前年に比べ2.9%も増加しています。(二〇〇二年、帝国データバンク調べ)

私が一九八六年(昭和六十一年)に創業したころは、名刺を持っている女性も少ない時代でしたので、女性経営者はかなりめずらしい存在でした。今は、女性の社会進出も進み、産業構造も製造業からサービス業やITなどに移行して行き、女性の体力ハンディを意識することなく、逆

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

に女性の特性を新たな感性として求められる時代が、女性経営者を増やしています。

昔、私が銀行の融資に借り入れに行くと、担当の方が「女性は結婚と家事が大切だから、悪いことは言わないから、起業なんてやめなさい」と諭されたり、

→女性生活責任がないから起業してもすぐにやめてしまおう」と、企画書をろくに

に見てもらえませんでした。昨今は状況が変わったとはいえ、まだまだ女性の資金集めの壁は高いようです。

二〇〇三年、中小企業挑戦支援法による最低資本金規制や、行政の起業支援制度が充実してきたので、資金力が乏しい女性にも

法人としての創業のハードルが低くなり、チャレンジしやすくなったと言えます。

女性経営者はサービスの割合が高いのが特徴です。これは、女性の特性が活かしやすいためとも言われています。

女性従業員の割合も男性

す。また、女性経営者の企業に男性が行かない傾向も女性従業員の割合が高い要因のひとつです。

男性は卒業後継続して就職し、その経験を活かせる分野で創業していますが、女性はバックグラウンドが多様で、結婚・出産・育児で中断も多く、前職と

ことは強みでした。それ以外に人脈もなく管理職どころか責任のある位置に付いた事がなかったので、経験不足からなにかもが手探りの状態で非常に苦労しました。

長所としては、経験が少ない分、慣例にとらわれない発想がサービスや商品企画に結びつき、しがらみもないため意外な営業展開

女性経営者

経営者の企業より高く、正社員より非正社員の割合が高くなっています。女性が同性として、家事・育児・介護でフルタイム勤務が難しい事に対する理解があり、女性にあった就業形態を作りだしているからです。つまり、女性経営者は女性の働きやすい雇用の場を創出していると言えます。

二〇〇三年、中小企業挑戦支援法による最低資本金規制や、行政の起業支援制度が充実してきたので、資金力が乏しい女性にも

は異分野での創業が自立できます。このことは、女性経営者の創業時のハンディには、前職で得たノウハウや人脈やマネジメント知識が大きな意味を持ちます。私の場合は、前職と同じコンピュータ業界だったので、そのノウハウを基にサービス項目を作っていました。

女性経営者の皆さん！時代到来の中、女を売らず・女を捨てずに、産業界の中でがんばっていきましょ

女性経営者の皆さん！時代到来の中、女を売らず・女を捨てずに、産業界の中でがんばっていきましょ